2026　年度　　授業概要

科目名		言語聴覚療法			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間　（2単位）	配当学年・時期	言語聴覚士科1年			必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

言語聴覚障害を学ぶ上での基礎知識を体系的に学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

言語聴覚障害における評価・訓練の概要を学ぶ。さらにコミュニケーション，臨床の基本的な考え方，言語聴覚士の職務内容、職業倫理について学ぶ。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

言語聴覚専攻で学ぶ様々な領域（高次脳機能障害、摂食嚥下障害、音楽療法）の基本的理解ができる。

回数	講義内容
1	言語聴覚障害の定義、特性を説明できる
2	言語聴覚障害の種類を言語・コミュニケーション過程から説明できる
3	各種言語聴覚障害の原因、疫学を概説できる
4	各種言語聴覚障害の主要症状を概説できる
5	言語聴覚士の役割と専門性を説明できる
6	言語聴覚士に求められる資質と能力を説明できる
7	言語聴覚士の職業倫理を説明できる
8	言語聴覚士の業務（急性期）を説明できる
9	言語聴覚士の業務（回復期）を説明できる
10	言語聴覚士の業務（生活期）を説明できる
11	言語聴覚士の業務（情報収集）について理解できる
12	言語聴覚士の業務（検査）について理解できる
13	言語聴覚障害の種類・特徴・発生機序について理解できる
14	他職種との連携の必要性とあり方を説明できる
15	言語聴覚障害によって生じる問題を機能、活動、参加、背景要因の観点から概説できる
16	失語症（種類・特徴・発生機序）について理解できる
17	実習日誌の書き方について理解できる
18	失語症（種類・特徴・発生機序）について理解できる
19	実習日誌の書き方について理解できる
20	失語症（種類・特徴・発生機序）について理解できる
21	実習日誌の書き方について理解できる
22	失語症（種類・特徴・発生機序）について理解できる
23	実習日誌の書き方について理解できる
24	失語症（種類・特徴・発生機序）について理解できる
25	実習日誌の書き方について理解できる
26	摂食嚥下障害（種類・特徴・発生機序）について理解できる
27	実習日誌の書き方について理解できる
28	音楽療法について理解できる
29	音楽療法について理解できる
30	摂食嚥下障害（種類・特徴・発生機序）について理解できる

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社
なし・配布プリント		

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。